

栗を用いた商品開発プロジェクト



神奈川県相模原市相模湖地区では、古くから栗の栽培が盛んで、その品質も優れていることが知られていました。しかし、産業構造の変化により、今では栗を栽培する農家は少なくなっています。相模湖商工会では、地域の特産品の開発を進めるべく、この栗に着目し、本学との連携により、新商品開発をスタートしました。今年度は、栗の歴史や江戸時代の調理方法等について調査し、栗の活用方法の可能性を探るとともに、揚げ栗など、いくつかの商品を提案しました。本プロジェクトは今後も継続し、同地区の特産品となるような商品開発を目指します。

- ◆担当教員：櫻井美代子 助教
- ◆連携パートナー：相模湖商工会
- ◆実施時期：平成25年4月～平成26年3月

地域の伝統的家庭料理再現プロジェクト

神奈川県相模原市津久井地域は、古くから小麦の栽培が盛んであったため、うどんと野菜と一緒に煮込んだ「にごみ」が一般的な家庭料理として親しまれてきました。しかし、食生活の変化で今ではほとんど食べられることがなくなっています。本プロジェクトでは、昔を知る地域の方への聞き取り調査にもとづき、「にごみ」を再現し、その後、料理教室や各種イベントへの参加、新しい「にごみ」の開発などを通じて普及活動を行いました。3年にわたるこうした活動の結果、現在では、津久井地域内の6つの飲食店でメニュー化されています。

- ◆担当教員：櫻井美代子 助教
- ◆連携パートナー：津久井地域商工会連絡協議会
- ◆実施時期：平成23年4月～26年3月

